

研 究 者 名 簿

分 担	氏 名	所 属 ・ 役 職	〒	住 所	T E L
主任研究者	高石 昌弘	国立公衆衛生院・次長	108	港区白金台 4-6-1	03-441-7111
分担研究者	小林 登	国立小児病院・院長	154	世田谷区太子堂 3-35-31	03-414-8121
”	高野 陽	国立公衆衛生院・ 母性小児衛生学部長	108	港区白金台 4-6-1	03-441-7111
研究協力者	石井 威望	東京大学工学部産業機械工学科・ 教授	113	文京区本郷 7-3-1	03-812-2111
”	岩田 洋夫	筑波大学構造工学系・助手	305	茨城県つくば市天王台 1-1-1	0298-53-5362
”	上田 篤	岐阜大学教育学部技術教育・助教授	501 -11	岐阜市柳戸 1-1	0582-30-1111
”	渡辺 富夫	山形大学工学部情報工学科・講師	992	米沢市城南 4-3-16	0238-22-5181
”	糸魚川直祐	大阪大学人間科学部・教授	565	吹田市山田丘 1-2	06-877-5111
”	大島 清	京都大学霊長類研究所・教授	484	愛知県犬山市官林	0568-61-2891
”	鈴木 良次	東京大学工学部・教授	113	文京区本郷 7-3-1	03-812-2111
”	三吉野産治	国立療養所西別府病院・院長	874	別府市大字鶴見 4548	0977-24-1221
”	兼子 和彦	葛飾赤十字産院・院長	124	葛飾区立石 5-11-12	03-698-5211
”	竹内 徹	大阪府立母子保健総合医療センター・ 副院長	590 -02	大阪府和泉市室堂町 840	0725-56-1220
”	多田 裕	東邦大学医学部新生児学研究室・ 教授	143	大田区大森西 6-11-1	03-762-4151
”	夏山 英一	夏山病院・院長	623	京都府綾部市神宮寺町東谷 4	0733-42-0371
”	中野 仁雄	九州大学医学部婦人科産科・教授	812	福岡市東区馬出 3-1-1	092-641-1151
”	水野 正彦	東京大学医学部産科婦人科・教授	113	文京区本郷 7-3-1	03-815-5411
”	加藤 忠明	日本総合愛育研究所・研究員	106	港区南麻布 5-6-8	03-444-0211
”	巷野 悟郎	東京家政大学家政学部・教授	173	板橋区加賀 1-18-1	03-961-5226
”	小嶋謙四郎	早稲田大学文学部・教授	162	新宿区戸山 1-24-1	03-203-4111
”	白龍 貞昭	神戸大学医学部精神神経科・講師	650	神戸市中央区楠町 7-5-1	078-341-7451
”	利島 保	広島大学教育学部心理学科・助教授	730	広島市中区東千田町 1-1-89	082-241-1221
”	二瓶 健次	国立小児病院神経科・医長	154	世田谷区太子堂 3-35-31	03-414-8121
”	前川 喜平	東京慈恵会医科大学小児科・教授	105	港区西新橋 3-25-8	03-433-1111
”	水上 啓子	国立小児病院小児医療研究センター 小児生態研究部・室長	154	世田谷区太子堂 3-35-31	03-414-8121
”	三宅 和夫	北海道大学教育学部・教授	060	札幌市北区北11条西 7 丁目	011-716-2111
”	若葉 陽子	東京学芸大学特殊教育施設・助教授	184	小金井市貫井北町 4-1-1	0423-25-2111
”	八倉巻和子	大妻女子大学家政学部・教授	102	千代田区三番町 12	03-261-9841
”	高城義太郎	玉川大学文学部・教授	194	町田市玉川学園 6-1-1	0427-28-3333
”	高橋 種昭	日本女子大学家政学部・教授	112	文京区目白台 2-8-1	03-943-3131
”	松井 一郎	国立小児病院小児医療研究センター 小児生態研究部・部長	154	世田谷区太子堂 3-35-31	03-414-8121
”	瀬川 昌也	瀬川小児神経学クリニック・院長	101	千代田区神田駿河台 2-8	03-294-0371
”	岡 宏子	聖心女子大学・名誉教授	150	渋谷区広尾 4-3-1	03-407-5811
”	村田 光範	東京女子医科大学第二病院小児科・ 教授	116	荒川区西尾久 2-1-10	03-810-1111
”	東郷 正美	東京大学教育学部・教授	113	文京区本郷 7-3-1	03-812-2111

研究成果の刊行に関する一覧

- 1) Kobayashi N., Mizukami K., Ishii T., Watanabe T., Iwata H., and Kato T. : Quantitative evaluation of infant behavior by Computer image processing "Neonatal Brain and Behavior", 121-134 (Yabuuchi H., ed.), Nagoya University Press, 1987.
- 2) Mizukami K., Kobayashi N., Iwata H. and Ishii T. : Telethermography in Infant's emotional Behavioural Research. *Lancet*, Vol. II, 38-39, 1987.
- 3) Mizukami K. and Kaneko K. : Infant Psychiatry in Japan. *J. Amer. Acad. Child Adolesc. Psy.*, Vol. 27(3):390, 1988.
- 4) 水上啓子, 小林登: 小児行動異常に対する乳児行動発達学の意義. *小児内科* 8: 1141-1146.
- 5) 水上啓子: 乳幼児精神医学—発達心理学の立場から(乳児行動発達研究・母子相互作用研究を中心に). *発達障害研究*, 10:52-61, 1988.
- 6) Itoigawa N. : Life histories of Japanese monkeys in a free-ranging group. *Proceedings of IXth Biennial Meetings of International Society for the Study of Behavioural Development*. Center of Developmental Education and Research, 1988.
- 7) 糸魚川直祐: ニホンザルにおける母子関係. *心理学評論*, Vol. 31(1), 心理学評論刊行会, 1988.
- 8) 白瀧貞昭: 出生後の親と子のつながり. *ペリネイタルケア*, 5(12) メディカ出版, 1986.
- 9) Shirataki S. : Neurobehavioral development in high-risk young infants: wakefulness and its implication for a future development. *The proceedings of the Vth International Symposium on Developmental Disabilities*. Univ. of Nagoya Press, 1987.
- 10) 白瀧貞昭: 総説. 乳幼児精神医学—最近の動向を中心として—. *児童青年精神医学とその近接領域*, 29(3): 137-147, 日本児童青年精神医学会, 1988.
- 11) 川人光男, 宇野洋二, 鈴木良次: 随意運動における適応と制御II. *日本ロボット学会誌* 6(3), 日本ロボット学会, 1988.
- 12) 瀬戸山徹, 川人光男, 鈴木良次: 多層神経回路網内に学習される逆ダイナミクスモデルによるマニピュレータの制御. *電子情報通信学会技術報告 MBE* 87-135, 電子情報通信学会, 1988.
- 13) 鈴木良次, 川人光男, 宇野洋二: 人間の手の技術はどのようにして獲得されるか—ニューラルネットワークの運動制御への応用—. *日本ME学会誌 BME*, 2(10), 日本ME学会, 秀潤社, 1988.
- 14) 大島清: 胎児教育 赤ちゃんはお腹の中で学んでいる. ごま書房, 1988.
- 15) 大島清: 胎児に音楽は聴こえるか「生命誕生の科学と神秘」PHP, 1988.
- 16) Hayashi M. & Oshima K. : Neuropeptides in cerebral cortex of macaque monkey (*Macaca fuscata fuscata*): regional distribution and ontogeny. *Brain Research*, 364: 360-368, 1986.
- 17) Hayashi M. : Ontogeny of glutamic acid decarboxylase, tyrosine hydroxylase, choline acetyltransferase, somatostatin and substance P in monkey cerebellum. *Developmental Brain Research*, 32: 181-186, 1987.
- 18) Hayashi M., Yamashita A., Shimizu K. & Oshima K. : Ontogeny of cholecystokinin-8 and glutamic acid decarboxylase in cerebral neocortex of macaque monkey.

- Experimental Brain Research, 74:249-255, 1989.
- 19) Yamashita A., Hayashi M., Shimizu K. & Oshima K. : Ontogeny of somatostatin in cerebral cortex of macaque monkey : and immunohistochemical study. Developmental Brain Research, 45:103-111, 1989.
 - 20) 前川喜平 : 母乳哺育と新生児の行動発達. ペリネイタル・ケア72号, メディカ出版, 1988.
 - 21) 前川喜平, 副田敦裕, 山田奈生子, 他 : 利き手, 利き足と軸足の発達に関する研究. 小児科診療 51(9), 診断と治療社, 1988.
 - 22) 前川喜平 : 小児における固視と認知. 神経眼科 5(3), 日本神経眼科学会, 1988.
 - 23) 前川喜平 : 小児における平衡機能の発達. 小児内科, 20(11), 東京医学社, 1988.
 - 24) 前川喜平, 副田敦裕, 山田奈生子, 他 : Tilting-Board Reaction of The Newborn. Jikeikai Medical Journal, 35(4), 慈恵医大, 1988.
 - 25) 利島保 : 話の聴ける助産婦の役割. 助産婦雑誌, 41(12), 医学書院, 1987.
 - 26) 利島保 : 妊婦の心理と母性形成過程. ペリネイタルケア, 6(5), メディカ出版, 1987.
 - 27) 金谷有子, 中村千晶, 三宅和史 : Cross-cultural study of the expressive behavior of mothers in response to their 5-month-old infants' different emotion expression. Annual Report, Research & Clinical Center for Child Development Hokkaido University, 11, 北海道大学教育学部附属乳幼児発達臨床センター, 1989.
 - 28) 若葉陽子 : 早期発吃児における神経症的行動-母子関係との関連. 第4回母子精神保健研究会発表論文抄録集, 母子精神保健研究会, 1988.
 - 29) 加藤忠明, 高橋悦二郎, 他 : 乳児の発達に関するコンピューター分析. 日本総合愛育研究所紀要22集, 日本総合愛育研究所, 1987.
 - 30) 加藤忠明 : 新生児の行動とその観察法. 助産婦, 40(9), 日本助産婦会, 1986.
 - 31) 加藤忠明 : 母子相互作用からみた母児同室制・異室制. 東京母性衛生学会誌, 3(1), 東京母性衛生学会, 1987.
 - 32) 加藤忠明 : 母子相互作用その7, 乳幼児の発達縦断研究. 乳幼児の教育(40), キュックリ記念財団, 1987.
 - 33) 加藤忠明, 高橋悦二郎, 他 : 新生児期から生後24か月時までの健康な乳幼児の発達. 日本総合愛育研究所紀要23集, 日本総合愛育研究所, 1988.
 - 34) 加藤忠明 : 発達と母子相互作用, 小児の生活, 発達障害の概念と病態. 図説小児保健, 建帛社, 1988.
 - 35) 加藤忠明 : 母子相互作用と父親の役割. 小児科 MOOK, 52, 金原出版, 1988.
 - 36) 加藤忠明 : 母性意識, 母子関係の観察(別冊) 発達 8, ミネルヴァ書房, 1988.
 - 37) 加藤忠明 : 計測行動学. 日本新生児学会雑誌 24(1), 日本新生児学会, 1988.
 - 38) 加藤忠明, 他 : 生後36か月時までの健康な乳幼児の発達. 日本総合愛育研究所紀要24集, 日本総合愛育研究所, 1989.
 - 39) 加藤忠明 : 授乳の心理学. 周産期医学, 19(4), 東京医学社, 1989.
 - 40) 加藤忠明 : 乳児期の母子相互作用, 小児看護, 12(4), へるす出版, 1989.
 - 41) 加藤忠明 : 母性への実際面からのアドバイス-小児科サイドから-. 母性, 新曜社, 1988.
 - 42) 渡辺富夫 : マン・マシン・インタフェースにおける音声対話速度の適応化. 第4回ヒューマン・インタフェースシンポジウム, pp303-310, 1988.
 - 43) 渡辺富夫, 結城直彦 : 音声対話時のうずまき反応の分析とモデル化. 第4回ヒューマン・インタフェースシンポジウム, pp157-162, 1988.
 - 44) Tomio Watanabe : A Method for Adaption. Machine Conversational Speed to Speaker Speed in Man-Machine Communication. SICE' 88: 919-922, 1988.

- 45) Inoue, M. Koyanagi, T. Nakahara, H. Hara, K. Nakano, H. : Functional development of human eye movement in utero assessed quantitatively with real-time ultrasound. *Am. J. Obstet Gynecol.* 155, The C. V. Mosby Company, 1986.
- 46) Koyanagi, T. Horimoto, N. Hirose, K. Nakano, H. : A multiple and comprehensive study of fetal behavior. *Excerpta Medica, ICS 752*, Elsevier Science Publishers B. V., Biomedical Division, 1987.
- 47) Horimoto, N. Koyanagi, T. Nagata, S. Nakahara, H. Nakano, H. : Concurrence of mouthing movement and rapid/nonrapid eye movement phases with advance in gestation of the human fetus. *Am. J. Obstet Gynecol.*, The C. V. Mosby Company, 1989.
- 48) 夏山英一：胎児の発育と行動. *臨床婦人科産科*. 43(1), 医学書院, 1989.
- 49) 夏山英一：第83回日本医学会シンポジウム出生前医学の諸問題〔Ⅱ〕出生前医学の発達生物学④-b健康胎児の発育. *日本医師会雑誌*, 101(2), 日本医師会, 1989.
- 50) 夏山英一：胎児の発育. *産婦人科治療*, 54(5), 永井書店, 1987.
- 51) 夏山英一：胎児の行動発達と出生前からの母子相互作用. *小児科診療*, 50(1), 診断と治療社, 1987.
- 52) 夏山英一：妊婦の心理と胎児行動, 東京医学社, 1988.
- 53) 夏山英一：分娩前育児相談のあり方と意義産科医の立場から. *小児科MOOK*, 52, プライマリ・ケアのための育児学, 金原出版, 1988.
- 54) Watanabe, T. : A quantitative analyzing method for the synchrony between a speaker's voice and a listener's nodding in interpersonal communication. *JSME International Journal*, 30:270, 1987.
- 55) 若葉陽子：早期発吃児における神経症的行動—2歳時発吃男児における様相—, *特殊教育研究施設報告*, 37, 東京学芸大学特殊教育研究施設, 1988.
- 56) 若葉陽子：吃音児の母子相互交渉に関する研究, *東京学芸大学教育研究施設*, 1987.
- 57) 内藤和美：わが国における被虐待児症候群—小児医療現場における実態—, *世界の児童と母性*, No. 22, 資生堂社会福祉事業財団, 1987.
- 58) 内藤和美：小児医療の場にみる被虐待児の実態. *児童育成研究*, 5, 日本児童育成学会, 1987.
- 59) 内藤和美, 小林登, 松井一郎：Battered Child Syndrome—行動小児科学の視点から—. *小児科診療* 51(1), 特集・行動小児科学, 診断と治療社, 1988.

昭和63年度 厚生省心身障害研究

「家庭保健と小児の成長・発達に関する総合的研究」班

研究報告会プログラム

平成元年3月3日 (金)

- 9:50 開 会 主任研究者 高石 昌弘
- 10:00 1. ① 乳幼児の相互作用に関する研究
② サーモグラフィによる障害児の認知反応に関する研究
東京家政大学家政学部 ① 鈴木 裕子, ② 近藤 洋子, 巷野 悟郎
2. 母体の心理状態と胎児の動き 葛飾赤十字病院 兼子 和彦
- 10:30 3. NICUにおける診断へのエントレイノグラフィの応用
東邦大学医学部新生児学研究室 多田 裕
4. サル中枢神経系における神経成長因子の分布とその発達
京都大学霊長類研究所 ○林 基治, 大島 清
- 11:00 5. 乳幼児の食行動に影響を及ぼす養育条件に関する研究
大妻女子大学家政学部 ○大場 幸夫, 八倉巻和子
6. 小児の成長の地域差に関する研究 東京大学教育学部 東郷 正美
- 11:30 7. 思春期小児の健康に対する家庭保健のあり方に関する研究
東京女子医科大学小児科 村田 光範
8. 乳幼児の健康及び発達に影響を及ぼす社会環境的条件に関する研究
玉川大学文学部 高城義太郎
- 12:00 一 昼 食 一
- 13:00 9. ニホンザルの初期行動発達 —母子分離による影響—
大阪大学人間科学部 糸魚川直祐
10. 高崎山日本猿集団における相互作用と行動発達に関する研究
国立療養所西別府病院 三吉野産治
- 13:30 11. ヒト胎児における排尿とREM期との同期性の発達について
九州大学医学部産婦人科 ○堀本 直幹, 中野 仁雄
12. 運動能力発達過程の神経回路モデル 東京大学工学部 鈴木 良次
- 14:00 13. 母体行動が胎児に及ぼす影響
東京大学医学部産婦人科 ○上妻 志郎, 水野 正彦
14. 自閉症の発生予防における臨界齢に関する研究
瀬川小児神経学クリニック 瀬川 昌也
- 14:30 15. 早期発吃児の発達経過 —神経症的行動と母子関係—
東京学芸大学特殊教育施設 若葉 陽子
16. ヒューマンインターフェイスへの音声対話時の引き込み現象の応用に関する研究
山形大学工学部 渡辺 富夫

- 15:00 — 休 憩 —
- 15:20 17. 家庭保育と施設保育の相互作用 早稲田大学文学部 小嶋謙四郎
18. 被虐待児症候群全国登録とふたご
国立小児病院小児医療研究センター 松井 一郎
- 15:50 19. かかわりの発達とその歪みに関する研究 聖心女子大学 岡 宏子
20. 父母の養育態度の形成とその評価に関する研究
日本女子大学家政学部 高橋 種昭
- 16:20 21. 乳幼児身体発育調査の検討に関する研究
国立公衆衛生院 ○加藤 則子, 高石 昌弘
22. 乳幼児の対象認知の発達に及ぼす母子相互作用の効果
広島大学教育学部 利島 保
- 17:00~19:00 — 懇 親 会 —

平成元年3月4日 (土)

- 10:00 23. 乳児期初期愛着形成に関する研究
国立小児病院小児医療研究センター 水上 啓子
24. 生体情報のマルチ・モード計測システムの開発
筑波大学 ○岩田 洋夫, 岐阜大学 上田 篤, 東京大学工学部 石井 威望
- 10:30 25. 視覚弁別を用いた乳児への事像関連電位 (P 300) 測定の試み
国立小児病院神経科 二瓶 健次
26. ハイリスク乳幼児の母子関係
神戸大学医学部精神神経科 ○民法 紀彦, 白瀧 貞昭
- 11:00 27. 新生児期早期母子分離のその後の母子相互作用の確立 — 帝王切開児
東京慈恵会医科大学小児科 ○遠藤かほる, 前川 喜平
28. 乳児期の母子相互作用と後の社会・情動発達
北海道大学教育学部 三宅 和夫
- 11:30 29. 生後36ヶ月時までの健康な乳幼児の発達 日本総合愛育研究所 加藤 忠明
30. 未熟児のNICUにおける初期行動の観察
大阪府立母子保健総合医療センター 竹内 徹
- 12:00 講 評 評 価 委 員 内藤寿七郎, 東 洋
厚生省母子衛生課 松本 千草
- 12:30 — 昼 食 —
- 14:00 公開シンポジウム 「家庭にとって子どもとは」

(主催 家庭養育研究会)

会 場 : 国立公衆衛生院 講堂 (3階)

昭和62年度 厚生省心身障害研究

「家庭保健と小児の成長・発達に関する総合的研究」

研究報告会プログラム

昭和63年2月26日 (金)

- | | | | |
|-------|---|----------|---------------------------|
| 10:00 | 開 会 | 主任研究者 | 高石 昌弘 |
| | 換 拶 | 厚生省母子衛生課 | 宮城島一明 |
| 10:15 | 1. 乳幼児の食行動に影響を及ぼす養育条件に関する研究 | | 大妻女子大学 八倉巻和子 |
| | 2. 乳幼児身体発育調査の検討に関する研究 | | 国立公衆衛生院 高石 昌弘, ○加藤 則子 |
| | 3. 乳幼児の対象認知の発達に及ぼす母子相互作用の効果 | | 広島大学 利島 保, ○吉田 弘司 |
| 11:00 | 4. 親子関係の失調に関する社会病理的研究 | | 国立小児病院小児医療研究センター 松井 一郎 |
| | 5. 家庭保育と施設保育の相互作用 - 2 - | | 早稲田大学 小嶋謙四郎 |
| 11:30 | — 昼 食 — | | |
| 13:00 | 6. サル小脳における神経活性物質の発達 | | 京都大学 大島 清, ○林 基治 |
| | 7. 高崎山日本ザル集団における相互作用と行動発達に関する基礎的研究 (母猿と子猿の相互作用ときずな形成及び行動発達) | | 国立療養所西別府病院 三吉野産治, ○佐々木清美 |
| | 8. ニホンザルの初期行動発達 - 母性行動不全の影響 - | | 大阪大学 糸魚川直祐 |
| | 9. 母体行動が胎児に及ぼす影響に関する研究 | | 東京大学 水野 正彦, ○上妻 志郎 |
| 14:00 | 10. 人胎児発達過程におけるREM/NREM期と口唇運動に関する研究 | | 九州大学 中野 仁雄, ○堀本 直幹, 小柳 孝司 |
| | 12. 小児の成長の地域差に関する研究 | | 東京大学 東郷 正美 |
| 14:30 | — 昼 食 — | | |

- 15:00 12. サーモグラフィを使った乳児の愛着行動に関する研究
 国立小児病院小児医療研究センター 水上 啓子
13. 新生児から生後24か月時までの健康な乳幼児の発達
 日本総合愛育研究所 加藤 忠明
14. 乳児の気質・母子相互作用と情動発達
 北海道大学 三宅 和夫
15. 乳幼児の健康及び発達に影響を及ぼす社会環境的条件に関する研究
 玉川大学 高城義太郎
- 16:00 16. 父母の養育態度の形成とその評価に関する研究
 日本女子大学 高橋 種昭

昭和63年2月27日 (土)

- 10:00 17. 思春期小児の健康に対する家庭のあり方に関する研究
 東京女子医科大学 村田 光範
18. かかわりの発達とそのひずみに関する研究
 聖心女子大学 岡 宏子
19. 自閉症の発生予防における臨界齢に関する研究
 瀬川小児神経学クリニック 瀬川 昌也
- 20-1 新生児期早期母子分離のその後の母子相互作用の確立 —帝王切開児—
 2. 幼児の気質に関する研究
 慈恵医科大学 前川 喜平, ① 遠藤かほる, ② 副田 敦裕
- 11:00 21. 情緒反応を観測するための高速信号処理システムの開発
 東京大学 石井 威望, ○岩田 洋夫, ○上田 篤, ○中垣 好之
- 11:15 講 評 評 価 委 員 内藤寿七郎
 林 路彰
- 11:40 特別講演
 "Growth and Development of Childran in relation to Home Environment"
 Prof. Rolf Zetterstrom
 (Dept. of Pediatrics, karolinska Institute)
- 閉 会
- 12:00 — 昼 食 —

昭和 61 年度 厚生省心身障害研究

「家庭保健と小児の成長・発達に関する総合的研究」班

研究報告会プログラム

昭和62年2月6日(金)

- | | | | |
|-------|---|----------|----------------------------------|
| 10:00 | 開 会 | 主任 研究者 | 高石 昌弘 |
| | 挨拶 | 厚生省母子衛生課 | |
| 10:20 | 1. 父母の養育態度の形成とその評価に関する研究 | | 日本女子大学 高橋 種昭 |
| | 2. 乳幼児の食行動に影響を及ぼす養育条件に関する研究 | | 大妻女子大学 八倉巻和子 |
| 11:00 | 3. 健康な乳児の発達に関する縦断的研究 | | 日本総合愛育研究所 加藤 忠明 |
| | 4. 乳幼児の物体同一視過程における注視反応の発達の検討 | | 広島大学 利島 保 |
| | 5. 家庭保育と施設保育の相互作用 - 子供の精神発達との関連 - | | 早稲田大学 小嶋謙二郎 |
| 12:00 | — 昼 食 — | | |
| 13:00 | 6. サル中枢神経系における神経活性物質の発達 | | 京都大学 大島 清, ○林 基治 |
| | 7. 高崎山日本ザル集団における相互作用と行動発達に関する基礎的研究 (人間に育てられた新生児サルの行動記録) | | 国立療養所西別府病院 三吉野産治, ○佐々木清美 |
| | 8. オタマジャクシの視覚行動 | | 大阪大学 鈴木 良次, ○小田原利典, 渥美 尊文, 曾我部正博 |
| 14:00 | 9. ハイリスク乳児の神経行動発達 | | 神戸大学 白滝 貞昭 |
| | 10. 三歳児の気質 - 行動様式質問紙の標準化 - | | 慈恵医科大学 前川 喜平 |
| | 11. 新生児期・乳児期の気質の特徴ならびに母児間の情動的コミュニケーションと児の発達 | | 北海道大学 三宅 和夫 |
| 15:00 | — 休 憩 — | | |

- 15:20 12. 乳幼児の健康及び発達に影響を及ぼす社会環境的条件に関する研究
玉川大学 高城義太郎, ○斎藤 歆能
13. 親子関係の失調に関する社会病理的研究
国立小児病院小児医療研究センター 松井 一郎
- 16:00 14. サーモグラフィを使った乳児の情緒反応に関する研究
国立小児病院小児医療研究センター 水上 啓子
- 15-1 サーモグラフィによる観劇反応の分析
2 乳児の行動の相互作用に関する研究
東京家政大学 巷野 悟郎, ① 近藤 洋子, ② 鈴木 裕子;
岩田 洋夫, 小野 明美
16. 集団的情動反応を観測するための生体情報計測システム
東京大学 石井 威望, ○岩田 洋夫, ○広瀬 通孝, ○上田 篤

昭和62年2月7日 (土)

- 10:00 17. 胎児心拍数変動からみた胎児行動に関する研究
東京大学 水野 正彦, ○上妻 志郎
18. 胎児中枢神経異常例の行動科学
九州大学 中野 仁雄, ○井上 充, 小柳 孝司
19. 超音波の状態からみた胎児行動と妊娠中の妊婦心理 (妊娠中の母子相互作用)
夏山病院 夏山 英一
- 11:00 20. 自閉症の発生予防における臨界齢に関する研究
瀬川小児神経学クリニック 瀬川 昌也
21. かかわりの発達とそのひずみに関する研究
聖心女子大学 岡 宏子
22. 思春期小児の健康に対する家庭保健のあり方に関する研究
東京女子医科大学 村田 光範
- 12:00 23. 小児の成長の地域差に関する研究
東京大学 東郷 正美

講 評 評 価 委 員 内藤寿七郎
林 路彰
東 洋

閉 会

12:50 一 昼 食 一